# 「西条市学校規模適正化等に関する検討委員会」の設置について

令和５年５月２日
学校教育課

標記の件につきまして、下記の通り報告します。

記

１名　称　　西条市学校規模適正化等に関する検討委員会

２設置時期　令和５年４月

３設置に至る経過

～令和２年度　　地域に学校は残していく（統合は行わない）方針
令和２年３月　　第２期西条市総合計画後期計画
～将来人口推計で児童生徒数が大きく減少することが明らかに。
令和３年度　　タウンミーティングで複式学級を懸念する声が増加。
令和４年１月　　愛媛大学露口教授による講演
「将来に向けた魅力的な学校教育環境のあり方について」
令和４年３月　　方針転換⇒子ども達のための最適な学習環境の整備の見地から、
学校規模の適正化に向けた検討の必要性を表明。
11 月　　保護者・教職員向けアンケート調査実施
令和５年１月　　アンケート調査の結果、約７割の回答者がクラス替のできるような
規模の学校を希望することが明らかに。
１月　　総合教育会議の結果、学校規模適正化に向けた検討について、
教育委員会事務局主導により取り組むことを表明。
３月　　同　議会に対し、学校規模の適正化に向けた検討開始を表明。
・市長による施政方針演説
・楠学議員（西条自民クラブ）の代表質問への議会答弁
４月　　教育委員会事務局内に検討委員会設置

４検討委員会の概要について

(1) 検討委員会の使命
学校規模適正化に向けた調査研究、協議。
基本方針、計画策定に至る進め方の検討他。

(2) 基本方針決定～表明の時期
令和６年 11 月迄

(3) 委員構成について
WG 形式で、教育委員会事務局職員を中心に構成。（別紙参照）

(4) 事務局について
学校教育課（学校運営や学校教育そのものに直接関わる内容であるため。）
※神戸小・公民館複合化については、引き続き教育総務課が主管。

(5) 基本方針策定に向けた進め方とスケジュールについて
（令和５年度）まずは委員会（WG）で調査研究をスタート。
その後、プロジェクトチーム等の全庁横断的組織への移行も検討。
（令和６年度）外部有識者や地域代表者等を入れた審議会の設置と諮問

(6) その他
早々に先進地への訪問（新居浜市、八幡浜市 etc）を予定。

以上

## 西条市学校規模適正化等に関する検討委員会（WG）

| 所属 | | 役職名 | 氏　名 | WG役職 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教育委員会事務局 | ー | 局長 | 串部　　佳隆 | 会　長 | |
| | ー | 教育指導監 | 黒河　　幸彦 | 副会長 | 教員（学校籍） |
| | 学校教育課（主管課） | 副局長兼課長 | 戸田　　章裕 | 事務局長 | |
| | | 副課長 | 玉井　　卓司 | 副事務局長 | |
| | | 指導担当専門員 | 木村　　正 | | |
| | | スマートスクール推進係 | 白石　　正和 | | |
| | | 地域学校協働係 | 渡部　　美奈 | | |
| | | 指導主幹 | 吉岡　　健二 | | 教員（学校籍） |
| | | 指導主幹 | 内田　賢一郎 | | 教員（学校籍） |
| | 教育総務課 | 課長 | 白石　　元 | | |
| | | 主幹 | 村上　　彰彦 | | |
| | | 副課長兼学校給食係長 | 曽我部　みを | | |
| | | 教育総務係長 | 田口　　剛洋 | | |
| | | 副課長兼施設係長 | 高木　　克彰 | | 技師 |
| | 社会教育課 | 課長 | 黒瀬　　眞禎 | | |
| | | 専門員兼社会教育係長 | 井上　　直樹 | | |
| | | | 16名 | | |

※教育委員会事務局の概ね副課長級以上で構成（主管課除く。）。

基本方針案の作成に向けた機動性と事務の迅速性に重きを置き、WG形式で随時会議を開催。